

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年2月13日

事業所名 エジソンジュニア

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	児童数に対して部屋を分けスペースの確保に努めている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	利用者の特性に合わせた配置に努めている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	60%	0%	40%	個々の特性に合わせた設備配置に努めている。	特性に合わせた環境作りに今後も取り組んで行く。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	毎日、清掃・アルコール消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	0%	20%	職員会議でPDCAサイクルについて取り組んでいる。	職員全員に周知できるように改善に取り組む。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	保護者の意向を真摯に受けとめて職員間で話し合い改善に取り組んでいる。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	児童室に掲示版を作りお知らせという形で誰でも見られるようにしている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	0%	80%		現在は第三者評価は行っていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	内部・外部研修に積極的に参加している。	特定の職員だけではなく研修に参加する機会を増やして行けるように努める。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		より関係機関と連携した計画作成に取り組んで行きたい。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	詳細なアセスメントシートを使用している。	
	12 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	個々の課題についてどのような支援が必要かを職員で話し合っている。	支援項目・内容、または成長に伴った支援を提供できるように努める。
	13 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	職員間で話し合い計画に沿えるように取り組んでいる。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	0%	20%	活動立案に対して定期的に職員間で話し合っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	職員の意見を集約することで固定化されないように努めている。	固定観念にとらわれることなく個々の成長に合わせたプログラム作りに取り組んで行く。
	16 (放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	長期休暇期間で取り組める活動を提案して実施している。	きめ細やかな設定ができるように今の取り組みを継続しながら取り組んで行きたい。
17 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		利用者の意思を尊重しながら個別活動と集団活動を上手く組み合わせたい。	

	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	ミーティングを毎回行い支援内容の目的も話し合っている。	現状を継続しながら活動の目的や支援方法を職員でより一層共有できるように努める。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	その日の振り返りを職員間で行っている。	その日の状況で振り返りができないこともあるので改善に努める。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	日報やニーズ整理表を活用している。	今後も継続して記録などを活かし検証・改善に努める。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	半年に1回以上は行っている。		
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%	0%	0%	ガイドラインに沿いながらプログラムなどが固定化されないようにしている。	職員間での意見を集約して今後も支援に努める。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童発達管理責任者が参加している。		
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか						
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	必要に応じて学校と連絡を行っている。	今後も必要に応じて連絡に努める。	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					医療ケアが必要な児童の利用がない。	
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					医療ケアが必要な児童の利用がない。	
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか						
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか						
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20%	0%	80%		情報共有できていないのが現状なので必要に応じて連携して行きたい。	
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%		現状、卒業して障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者がいないが情報を提供する準備は整えておきたい。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	0%	60%		研修があれば積極的に参加して専門機関からの助言を参考に支援に努める。	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	100%		障害のない子どもと触れ合う機会がなかったので触れ合う機会を作れるように努める。	
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	80%	0%	20%	子ども部会に参加できるように職員の勤務調整を行っている。	今後も積極的に参加できるように勤務調整に努める。	

	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	気になる点は保護者に連絡して状況の理解に努めている。	保護者への伝達方法については個々に合わせた方法を検討して行く。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	20%	0%	80%		職員が家族支援プログラムに対する知識や支援についての習得に努める。
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に説明している。	今後も丁寧にわかりやすい説明に努める。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	担当職員より説明して保護者に同意を頂いている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%		適切な助言を行えるように職員のスキルアップに努める。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%		保護者会を開催できていないのが現状なので開催できるように努める。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	相談の申し入れがあれば即座に対応している。	相談があれば即座に対応できるように環境作りに努める。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	60%	0%	40%	毎月の活動に対する予定表を配布している。	活動内容などを子どもにもわかりやすい方法はないかを検討しながら改善に努める。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%		職員の個人情報の取り扱いに對す意識向上に今後も努める。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	絵カード・写真・動画などで情報伝達や意思疎通を行っている。	今後も個々に合わせた伝達方法の検討に努める。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60%	0%	40%		地域の方と触れ合う機会を増やして行けるように努める。
	非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	0%	定期的に訓練を実施している。
47		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	避難訓練を定期的に行い、避難方法の意識を高めている。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	保護者より情報を頂いている。	
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	おやつや給食を分けたり持参して頂いている。	
50		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリハットを作成している。	今後も職員がヒヤリハットの情報共有や理解に努める。
51		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	人権・虐待防止の研修を定期的に行っている。	今後も職員の虐待についての知識や意識向上に努める。
52		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	40%	0%	60%		現在は身体拘束を必要とする利用者はいないが職員の身体拘束に対する知識向上に努める。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。